

改訂版  
第二次  
江南市環境基本計画

平成29年度～平成33年度

みんなで作る持続可能で快適な生活環境都市



## 概要版



### 今回の改訂について

改訂前計画の策定から5年が経過した現在、公害苦情やごみの排出量が減少するなど、計画は順調に成果を見せてきました。一方で、国内の地球温暖化対策が順次強化されており、いっそうの取り組みが求められます。また、生物多様性の問題に関しては「戦略計画 2011-2020（愛知目標）」の達成に向けて、自然環境保全にとどまらず、生物資源の持続可能な利用という観点から総合的に取り組んでいく必要があります。

改訂前計画の中間目標年度を迎え、このような社会情勢の変化や新たな環境問題に対応するために、環境の現況及び進捗状況を踏まえて、指標や目標値を中心に計画を見直しました。



### 計画の位置づけなど

**計画の役割**：目指す方向や、目標の明確化を図る役割、市民、事業者、市の各主体の取り組みを示す役割、関連施策の総合化・体系化を進めるとともに関連主体との合意形成を推進する役割があります。

**計画の目標年度**：本計画の開始年度は平成29年度とし、目標年度は5年後の平成33年度とします。

**計画の位置づけ**：本計画は、江南市環境基本条例に基づき、本市の環境保全に関する取り組みの基本的な方向を示すもので、市の施策や市民、事業者に求められる行動を環境面から横断的にとらえた総合的な計画です。

**対象地域**：本計画の対象地域は、本市全域とします。

**環境の範囲**：本計画で対象とする環境の範囲は、前計画や社会情勢、本市の現状を踏まえ、「地域環境」「資源循環」「地球環境」とします。



## 計画の目指すもの

本計画の生活環境都市を実現するには、私たち一人ひとりの力が重要です。そこで、望ましい環境像を引き続き「みんなで作る持続可能で快適な生活環境都市」とし、一人ひとりが地域の主役となって、快適な生活環境都市をつくり上げることを目指します。

望ましい環境像を実現するために定めた4つの環境目標である「Ⅰ 地域の環境づくりにみんなで取り組むまち」、「Ⅱ さわやかな空気と水と緑のあふれる暮らしやすいまち」、「Ⅲ ごみを減量し資源の循環利用に取り組むまち」、「Ⅳ 青い地球を次の世代につなぐまち」の達成に向けて、基本的取り組みを進めます。



## 環境の現状

### ■地域の環境

市民意識調査によると、環境保全是、市民一人ひとりが出来るところから取り組むべきとの意見が最も多くなっており、市民の環境保全に関わる意識が高まっていることが分かります。

江南市では公害の苦情やごみの排出量などの環境負荷は減少傾向にあり、道路騒音も環境基準を満足しており、大きな公害問題はありません。

しかし、大気質や水質では環境基準を満たしていない項目や地点があり、ごみの不法投棄や雑草の管理などの苦情はゼロになっていません。

また、移動を自動車に依存する傾向があり、地球温暖化への影響が懸念されます。これからも、市民一人ひとりが環境の保全に努めていく必要があります。



▶毎年秋に開催される「環境フェスタ江南」では、各種環境団体の活動や市民及び市内の小・中学校、保育園が取り組んだ緑のカーテン、環境ポスター、リサイクル作品等を紹介しています。

### ■地球温暖化

大気中にある温室効果ガスが急激に増えているので、太陽のエネルギーを吸収し過ぎてしまい、世界の平均気温が上昇しています。

わが国ではかつては平成2年（1990年）以降、温室効果ガス排出量が増加していましたが、温暖化対策が進んだことや景気の低迷などにより、近年は温室効果ガス排出量が減ってきました。

地球温暖化対策計画では、温室効果ガス排出量を平成42年（2030年）までに平成25年（2013年）から26%削減するという厳しい中期目標が定められ、取り組みが強化されることです。

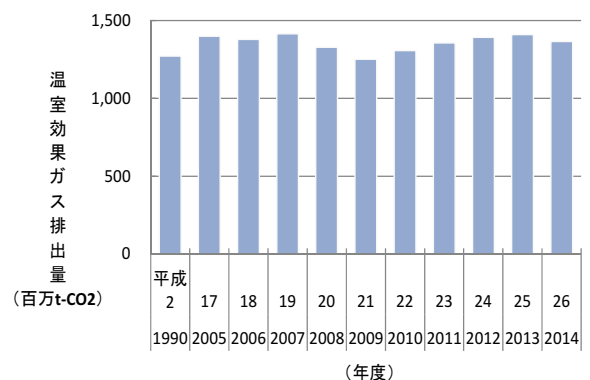


図 温室効果ガス排出量の推移（全国）

### ■生物多様性

生物多様性とは、様々な環境に多様な生物がいることを示します。

多様な生物が直接的・間接的に複雑に絡み合っ、現在の生態系が成り立っており、一度バランスを崩すと元に戻すのは大変です。

私たちの暮らしは、食料、水、建築物、燃料、安定的な気候など、様々な生物の恵みを受けて成り立っています。

生物多様性保全是、自然環境保全にとどまらず、こうした自然の恵みを持続可能な形で利用していくという側面もあります。

望ましい環境像

みんなで作る持続可能で快適な生活環境都市

環境目標

基本的取り組み

**I 地域の環境づくりにみんなを取り組むまち**

地域の環境づくりには、市民、事業者、市の日常的な取り組みの積み重ねが重要です。市民の環境保全に関わる意識が高まっており、この流れを生かして、何かの取り組みに協力する・参加するという意識ではなく、自主的に行動する市民を増やしていきます。

- 1 市民参加の推進と情報の共有化  
目標：市民一人ひとりが環境保全に取り組みます
- 2 環境教育と環境啓発の推進  
目標：市民がお互いに学び合う体制をつくります
- 3 環境保全活動の支援と育成  
目標：市民、事業者の環境活動を活発にします

**II さわやかな空気と水と緑のあふれる暮らしやすいまち**

今日私たちの日常生活や事業活動は、少なからず環境へ負荷を与えており、それがごみ問題や身近な公害となっています。日常のささいな行動が思いがけず生活環境の悪化を招くおそれがあることを自覚し、一人ひとりが行動を見直します。水辺や緑なども、快適な生活環境の一つの要素であるため、確保に努めます。

- 1 生活環境に対するマナーの強化  
目標：生活環境に関する苦情の件数を減らします
- 2 公害防止対策の推進  
目標：環境基準を達成し、公害を防止します
- 3 水辺と緑の整備  
目標：公園施設等に対する満足度を高めます
- 4 生物多様性の保全と持続可能な利用  
目標：生物の生育・生息の実態を把握し保全します

※生物多様性地域戦略

**III ごみを減量し資源の循環利用に取り組むまち**

回収・リサイクルの体制が構築されたことや、ごみ減量「57運動」により、本市におけるごみの排出量は近年減少していますが、ごみ減量が大切な課題であることに変わりありません。引き続き、社会全体でごみの排出を抑制することに加え、徹底的に資源を分別・回収・利用し、ごみとして処理される量を減らすことに取り組みます。

- 1 ごみ減量化の推進  
目標：4Rを合言葉に市民1人1日当たりのごみ排出量を削減します
- 2 資源の循環利用の促進  
目標：資源のリサイクルに努めます
- 3 ごみの適正な処理  
目標：不法投棄を防止します

**IV 青い地球を次の世代につなぐまち**

温室効果ガスを平成42年（2030年）までに26%削減するという、国の地球温暖化対策推進計画も策定され、目標達成に向けて取り組みが始まったところです。本市でも、引き続き温室効果ガスの排出削減に向けて一人ひとりの行動を見直し、青い地球を守るため低炭素社会の構築を進めます。

- 1 低炭素社会に向けた活動の実践  
目標：エネルギー使用量を減らします
- 2 新エネルギー、省エネ設備の普及促進  
目標：新エネルギー、省エネ設備の導入を進めます
- 3 公共交通の充実と利用促進  
目標：公共交通機関の利用を促進します
- 4 フロン類対策の推進  
目標：地球規模の環境保全に努めます

※地方公共団体実行計画（区域施策編）



## 重点的取り組みの推進

望ましい環境像の実現に向けて掲げた4つの環境目標のそれぞれについて、先導的役割を果たす取り組みを重点的取り組みとして定め、市民、事業者、市の連携のもと、その推進を優先的に図ります。

重点的取り組みの推進にあたっては、庁内各部署間の意見調整、周辺自治体との協調、市民、事業者との連携により効果的に施策を進めます。

環境目標	重点的取り組み
I 地域の環境づくりにみんなで取り組むまち	工コ人材の発掘・育成
II さわやかな空気と水と緑のあふれる暮らしやすいまち	生活マナーの向上
III ごみを減量し資源の循環利用に取り組むまち	ごみ減量「57運動」の推進
IV 青い地球を次の世代につなぐまち	地球温暖化対策の推進

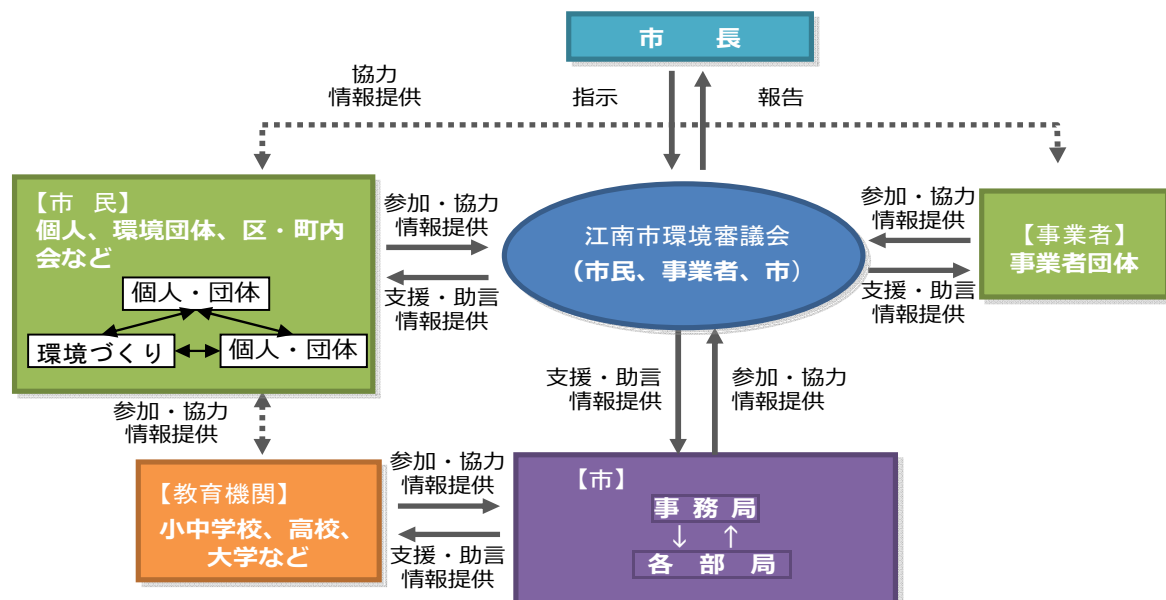


## 推進体制

平成23年度に制定された江南市市民自治によるまちづくり基本条例において、市民、事業者は交流しながら相互に助け合うとともに、地域課題の解決などに向けて協力し、行動するよう努めることが求められています。

本計画は、市民、事業者、市が協働で環境に関する取り組みを推進します。また、市は庁内各部署が連携して取り組みを進めます。

市民、事業者、市で構成する江南市環境審議会に、計画に関する情報が集約されます。審議会では、指標をもとに進捗状況を把握し、必要に応じて助言を加え、個人や団体のつながりを深めながら環境課題の解決に向けて行動します。



改訂版第二次江南市環境基本計画（概要版）

平成29年3月

発行 愛知県江南市

編集 生活産業部 環境課

〒483-8701 愛知県江南市赤童子町大堀 90 番地

TEL : 0587-54-1111 FAX : 0587-56-5516

E-mail : kankyou@city.konan.lg.jp